

# 令和7年度 山梨県立青洲高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年10月9日（木）15:50～（青洲ホール）

出席者

・学校評議員（7名）

一瀬良之様、高室卓也様、丹沢公彦様、一瀬浩様  
青木志保様、柳沢晋平様、小池剛様

・学校関係者（5名）

小林校長、山口教頭、藤巻教頭、吉留事務長、宮久保（記載者）

（1）校長より

○学校の特色は商業科、工業科、普通科の3科ある学校

- ・普通科の生徒も早い段階から他学科の学びに触れられればよい
- ・E類型の発展（多くの学びの場がある）
- ・進路実現力の向上を進めていきたい
- ・正解のない問いに立ち向かう、未来を創造する力を身に付けさせたい

（2）今年度の現状と課題

○指導重点と具体的な方策について

【教務部】BLEND（校務支援システム）…欠席連絡を受け入れる・電話対応がなくなる（昨日、ウイルス感染が全県下で起こった。便利な反面、懸念事項もある）

【生徒指導部】時間帯によっては学校前の道路が混雑してくる場合がある。地域の方からの改善要望あり。お互いに譲り合いながら行えればよいと思う

【生徒会指導部】瑠璃店を学園祭3日目に実施

瑠璃店と大会が重なってしまい、生徒ができるだけ参加できる日に設定して欲しかったという要望あり。地域の方が参加しやすい日を優先するか、生徒を優先するかどうか検討する。

【保健環境部】10月から清掃を火曜日と金曜日とした。

（働き方改革、他校より5分長い授業。2か月運用して検証する）

【普通科】他学科と連携して適切な評価をしていく

昨年度は3観点だけの評価だったが、今年度は素点を入力して自分の立ち位置を把握生徒に分かりやすく、伝わりやすく、納得できるような評価をしたい

- ・各教科 ICTの活用はほとんどの先生方が行っている（大型モニター設置済み）見やすくなった半面、生徒の持っているBYODの端末をどのように活用するかが課題
- ・ネット環境は全員で使うとつながりにくくなる時もある。各教科の先生方に研修等を参加してもらい、活用を促したい。

(3) 授業アンケート・学校評価アンケート

- ・授業評価の改善、ICT活用の課題、ネット環境の問題
- ・学校評価アンケートでは地域とのつながりや挨拶の評価が向上

**\*保護者・生徒の意見:**

- ・保護者からの相談環境に関する評価が下降
- ・生徒からは体育着や冷房管理に関する好評の意見がある
- ・自己肯定感の低さが課題

**\*地域との交流:**

- ・地域活動への参加（みさとの秋祭り、神明の花火後のゴミ拾い等）を通じた交流を推進

(4) 学校現場の課題と地域への期待

共有したいポイントは①評価の在り方 ②育てたい生徒像と地域交流

学校現場の課題

- ・いじめの増加、ヤングケアラー、家庭問題、発達障害など対応が複雑化
  - ・青洲高校では大きないじめは表面化していないが、課題は増加傾向
- 今後の取り組みとして

①地域との目標共有（協働活動）②学校評価の改善③地域資源の活用を進めたい

(5) 運営協議委員からのご意見

**\*学校評価・教員体制・生徒の進路**

「学校評価が実態改善につながっているのか」が課題

教員の年齢構成に偏りがあり、職場の一体感形成が難しい

保護者としては進路の不安が大きい、教育の本質から外れてしまう危険も

少子化の中、青洲高校は規模の大きさと特色に期待

大学進学が6割近く、キャリア教育の充実が必要

退職校長による「人材バンク」組織化を進行中

**\*地域の交通・物的支援・募集定員**

富士川大橋の1か月通行止め、広域農道は半年間通行止め予定

→ 通学時の注意喚起を要望

りんどうの会より、青洲高校へのテント寄贈の調整中

来年度の定員について質問 → 校長より「中学生の希望調査後に確定」と回答

**\*アンケートと生徒気質について**

最近のアンケートは否定的意見が多数・目立つ傾向

若い世代に「後ろ向き・すぐ辞める」傾向があるとの指摘

## 学校より

褒めたくなる生徒が多い

部活・行事を通して信頼関係を学ばせたい

10年前に比べると大人しいが、精神的にもろい生徒が増えている

多くのアンケート回答は「ありがとう」が中心

瑠璃店の土曜開催は「参加できなかった」が多く寄せられた

### \*地域交流・アンケート改善・AI活用

10/12「みさとの秋祭り」で青洲高校生がボランティア参加

→ 地域交流の場として評価

アンケートは「何をしたか」よりも「何が身についたか」を問う項目に改善を希望

AI時代を見据え、

パソコン・生成AIの活用を最低限できるように指導してほしい

今後の職業変化を見据え、一生働ける職業選択に導いてほしい

医師・弁護士でも診断業務はAIが代替する可能性があるとの見解

### \*学校の役割と行事運営

青洲高校が求められているのは「人づくり」

普通科・職業科(3科)が互いに良い刺激を与えている点が特徴

「社会の厳しさをどこで経験するか」→ 高校で経験してほしい

行事は、保護者の意見も踏まえつつ、日常の学校生活が破綻しない計画にしたい

## (7) 総括

本会議では、学校評価・生徒の育成・地域との連携・AI時代の教育・教員体制・生徒の気質の変化など、多岐にわたる課題が共有された。

特に「地域資源の活用」「アンケートの質向上」「キャリア教育の強化」「生徒の精神的な強さの育成」「AI活用能力の強化」が重要テーマとして浮かび上がっている。